



# 篠目中学校区避難所開設訓練

～地震発生時の避難行動と避難所の開設～



～訓練終了後、各係リーダーから活動内容を報告～



～要配慮者の避難を支援～

12月3日(土)篠目中学校区の自主防災組織の協力のもと、地震発生直後の避難行動から、一時避難地への避難、避難所への移動と避難所の開設に至る一連の流れを訓練しました。

訓練当日を迎えるまでは、ワークショップを重ねて各運営係の役割等を検討してきましたが、訓練時には極力事前の準備はせず、自主防災組織のメンバーが参集した時から開設の準備を始めるという、予定調和ではない臨場感あふれる訓練を行うことができました。

※訓練の詳細は2,3ページをご覧ください。

**特集** あんじょうのまちは  
愛いっぱい☆

'17 3/15 第96号

編集と発行／社会福祉法人 安城市社会福祉協議会  
〒446-0046 安城市赤松町大北 78 番地 4 (社会福祉会館内)  
TEL 0566(77)2941・FAX 0566(73)0437  
E-mail syakyo@city.anjo.aichi.jp http://www.anjo-syakyo.or.jp/

# あじょうのみんな まちは 愛いっばい☆

## 今年度は作野地区で訓練

安城市では、各町内の自主防災組織の活動を活性化するために「自主防災組織支援事業」を実施しており、今年度は作野地区で訓練を行いました。

この事業は、安城市危機管理課、災害救援の専門家である特定非営利活動法人レスキューストックヤード、安城市社協が協働し、町内会のみなさまと進めています。

今回は、「地震発生時の避難行動から避難所開設」に焦点を絞り、実際に災害が起きた時から避難所の運営が軌道に乗るまでの混乱期をどのように乗り切るか、また、そのための事前準備とは何かをテーマに訓練に取り組みました。

## 推進委員会（ワークショップ）の開催

各町内会から推進委員が選出され、全6回のワークショップを通して発災直後の避難行動から、避難所を開設するまでの課題について検討しました。

また、訓練実施後にも、それまでに検討してきたことと実際の訓練を照らし合わせ、起こりうる問題等の検証をしました。



▲発災直後の避難行動や町民の一時避難地、安否確認の方法等について検討しました。



▶避難所の運営が軌道に乗るまでの初期に必要なと想定される6つの係について検討しました。

## 防災講演会を開催

同志社大学の立木茂雄氏たつきしげおを招き、「災害時の要配慮者支援を通して考える助け合いの地域づくり」と題して講演いただきました。東日本大震災では、障がいのある人の死亡率が高かった事実を踏まえ、災害時にも地域のネットワークの中で要配慮者が暮らせるしくみをつくる必要性があること、障がいのある人と健常者が公平平等であるためには、バリア（障壁）を取り除く合理的配慮があることが必要であることなど、今後の防災対策に必要な貴重な指摘を受けました。



めに:合理的配慮の提供  
に:ストレングス構築  
めに:国連障害者権利条約・仙台防災枠  
消法  
時の合理的配慮  
慮者対応

## 衛生・環境整備・応急処置講習会の開催

安城市では、災害時に5か所の医療救護所が立ち上がりますが、避難所から医療救護所までの距離や緊急性を考え、病気を蔓延させない環境整備や、簡易な応急措置、救護所への移送が必要な人かどうかを判断する医療トリアージについて、学びました。



## 避難所開設訓練の概要

午前8時30分に震度7の地震が発生した想定で、自宅での避難行動、一時避難地への避難と住民同士による安否確認、今回の訓練会場である篠目中学校への移動と避難所の開設訓練を行いました。当日は想定定の2倍近い452人の参加があり、受付の行列や物資の不足などが見られましたが、推進委員以外の応援も得ることで混乱を回避することができました。



## 避難所の開設

避難所の運営が軌道に乗るまでの初期に必要なと想定される役割として、6つの係を設定しました。この係は、避難者の誰もが担うことを想定し、「係としてやること」や「係として使う物品について」が書かれた『指示書』を活用して行われました。

### 運営本部係

- ・ 全体のとりまとめ
- ・ 居住スペースの区画割り
- ・ 避難所全体図掲示
- ・ 避難所ルール掲示



### トイレ係

- ・ 簡易トイレの管理
- ・ 屋内トイレの管理
- ・ トイレの衛生管理
- ・ 使用方法の周知



### 物資係

- ・ 防災倉庫の管理
- ・ 物資保管場所設置
- ・ 物資の受け入れと仕分け、配布



### 受付係

- ・ 避難者の受付
- ・ 避難者名簿作成
- ・ 避難者数の集計
- ・ 有資格者の把握



### 救護係

- ・ 要配慮者スペースの管理
- ・ 要配慮者専用受付設置
- ・ けが人や病人対応



### 誘導係

- ・ 避難者、車輛の導線決定
- ・ 案内看板の掲示
- ・ 避難者の誘導



## 篠目中学校の協力

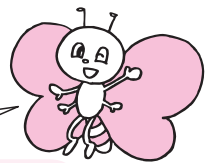
今回の訓練にあたっては、会場や備品の借用にとどまらず、生徒や先生方の協力がありました。避難所となった中学校を普段使っている人から協力を得られることは速やかな運営につながるかと学びました。



## まとめ

発災から避難所開設までを、避難者自身で行うために必要なことを検証し、「避難所開設手引き」と「指示書」という成果物にまとめることができました。今回の訓練後も早速見直しを行い、推進委員が誰も発災時にいなくても避難所が開設できるよう検証を加えました。これらは訓練を通して修正され、これから市内で各避難所を立ち上げる際に使われます。

ハートンからの  
おしらせだよ！



## 安城市ボランティアセンター からのお知らせ

### ① 29年度ボランティア登録受付中！

安城市ボランティアセンターは、ボランティア活動を始めたい人、すでに活動をしている人をサポートしています。ぜひご登録ください。

#### 【登録するメリット】

- ① ボランティア保険への加入（有料）
- ② 福祉センターおよび社会福祉会館利用の支援（ボランティア活動限定）
- ③ 助成金の相談及びご案内
- ④ 活動に関する相談および情報提供
- ⑤ 印刷機、裁断機、チラシ用紙等の利用提供など

詳しくはお問い合わせください。

※安城市社協ウェブサイトでもご案内  
(<http://www.anjo-syakyo.or.jp>)

### ② 点訳ボランティア養成講座

視覚障がいのある人に、点字を通して様々な情報をお届けしています。点字の基本的な技術を学び、一緒にボランティア活動してみませんか？

**日時**▼5月11日から7月13日までの  
毎週木曜日 全10回

午前10時～正午

**場所**▼社会福祉会館 講座室

**対象**▼市内在住又は在勤

**定員**▼20名（先着順）

**参加費**▼500円

### ③ 手話講座

聴覚障がいのある人の生活や抱えている課題などを学ぶとともに、手話で日常会話ができることを目指します。

**日時**▼4月26日から平成30年2月21日までの毎週水曜日（5月3日、8月16日、12月27日、1月3日を除く）全40回

午前10時～正午

**場所**▼社会福祉会館 講座室

**対象**▼市内在住又は在勤

**定員**▼20名（先着順）

**参加費**▼3240円（テキスト代）

**その他**▼未就学児の託児を希望の方は申込み時に相談ください。

### ④ 傾聴ボランティア養成講座

「傾聴」とは、耳を傾け、相手の心に寄り添って話を聴くことです。講座を通して自分のコミュニケーション方法を見つめ直し、傾聴ボランティアとして活動してみませんか。

**日時**▼5月12日（金）、26日（金）

午前10時～午後3時30分

**場所**▼社会福祉会館 講座室

**内容**▼①傾聴とは何か

②循環するコミュニケーション

③聴く姿勢

④傾聴ボランティアは何を求められているか

**講師**▼佐野 真紀 氏  
(愛知教育大学 准教授)

**対象**▼市内在住または在勤で傾聴ボランティア活動を始めたい人

**定員**▼30名（先着順）

**参加費**▼500円

### ⑤ 高齢者疑似体験スタッフ養成講座

「おじいさん、おばあさんになるってどんなこと？」を体験するため、手足に重りを付けたリ、特製ゴーグルで視界を悪くしたり、高齢者の身体を疑似体験する際のボランティアスタッフを養成します。主に小中学校の福祉学習の現場で活動しています。

**日時**▼5月18日（木）、25日（木）

午後1時30分～3時30分

**場所**▼社会福祉会館 会議室

**対象**▼福祉や教育に関心のある人

**定員**▼20名（先着順）

**参加費**▼3000円（保険料）

**主催**▼高齢者疑似体験指導サークル

『たけつま』

**受付**▼3月18日（土）午前9時から

申込み・問い合わせ▼

安城市ボランティアセンター

☎(77)2941

## 介護者のつどい

	日時・場所	問い合わせ
介護者のつどい	4月13日（木） 午後1時30分～3時 中部福祉センター 教養娯楽室	中部福祉センター ☎76-0090
介護者おしゃべりサロン	4月1日（土） 午後1時30分～4時 社会福祉会館 集会室	ボランティアセンター ☎77-2941

※介護者おしゃべりサロンは当事者による自主グループです。

### 募集

「あんじょう社協だより」に  
広告を掲載しませんか？

#### 【広告掲載料】

15,000円（社協特別会員）  
20,000円（非会員）

※1号（1か月）・1枠あたりの金額です

#### 【募集枠数】

1号につき2枠まで

【配布数】  
約72,000部（市内全戸配布）

詳しくはお問い合わせいただくか、  
当会ウェブサイトをご覧ください。  
企画財務係 ☎(77)2941  
(<http://www.anjo-syakyo.or.jp/>)



「あんじょう社協だより」は、もうすぐ第100号！  
いつも読んでくれてありがとう。

